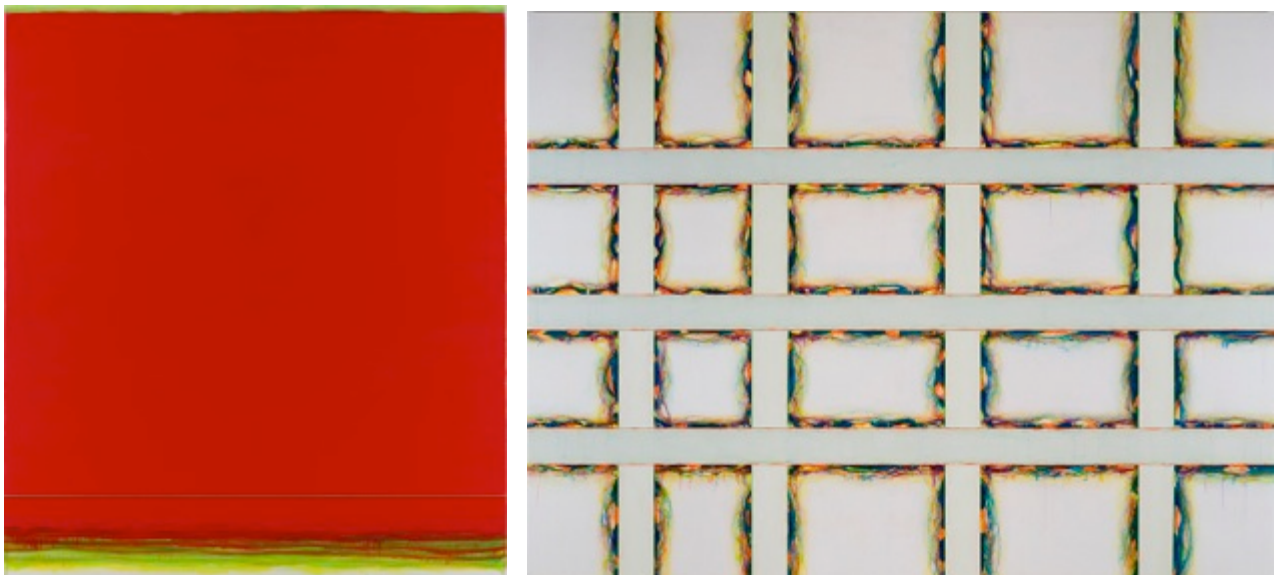


**ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテルのロビーに
フランシス真悟作品、マン・レイ作品を展示
2018年10月16日(火)～11月15日(木)**



(左) フランシス真悟<Infinite Space (scarlet-yellow)>2017-2018, 2400mm × 2080mm © Shingo Francis

(右) フランシス真悟<Matrix (green-violet)> 2018, 2850mm × 3670mm © Shingo Francis

この度、ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル1階ロビーにおいて、日米を拠点として国際的に活躍する作家であり、巨匠サム・フランシスを父に持つフランシス真悟の作品、2階フロントカウンター後方壁面に、ニューヨーク・ダダを代表する美術家マン・レイの絵画作品「回転扉」より7点を展示いたします。

<展示期間> : 2018年10月16日(火)～11月15日(木)

<展示場所、作品名>

ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル (〒220-8522 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)

●1階ロビー：エントランスロビー壁面/Shingo Francis<Matrix(green-violet)>

宴会場「パール」ショーウィンドウ/Shingo Francis<Infinite Space(scarlet-yellow)>

●2階ロビー：フロントカウンター後方壁面/Man Ray<Revolving Door> (7点)

作家プロフィール

フランシス真悟 (Shingo Francis)

1969年カリフォルニア生まれ。日米を拠点に活躍する作家。自然への畏敬の念から地平線や光をモチーフに、自然の持つ深淵さと本質をミニマルな絵画によって表現する。2001-2010年には横浜でアトリエを構えるなど、横浜との縁も深い。父に、アメリカ抽象表現主義を代表する画家サム・フランシス(1923-1994)を持つ。今回のメイン展示となる大作「Matrix」は、セゾン現代美術館にて開催された「レイヤーズ・オブ・ネイチャー その線を超えて」展(2018年4月21日-9月2日)にて、父サムの作品「Untitled」(1978)に応える形で制作された。

マン・レイ (Man Ray)

本名エマニュエル・ラドニツキー。1890年フィラデルフィア生まれ。マルセル・デュシャンと出会い、ニューヨーク・ダダを代表する美術家となる。1921年渡仏。ダダ、シュルレアリスム運動に参加し、アンドレ・ブルトン、トリスタン・ツァラ、ダリ、ピカソらと交流する。レイヨグラフ、ソラリゼーション等の新しい写真の技法を発見する他、雑誌『ハーバース・バザー』でモード写真を発表する等、優れた写真家として実績も残している。1976年没。

セゾンアートショップ SEZON ART SHOP

営業時間：10時～19時 電話番号：045-228-7235

ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル1階にあるセゾン現代美術館のミュージアムショップ。上質な素材とデザインにこだわった楽しいアイテムが並び、ミュージアムグッズや書籍、デザイン雑貨の販売、美術作品の展示をしています。今回の展示と共に、当館の魅力を堪能して頂けます。

*今回ホテルロビーに展示をいたします、フランシス真悟作品2点をご購入希望の方は、当ショップにお問い合わせください。



本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。
一般財団法人セゾン現代美術館 広報：坂本、山田
電話番号：03-5579-9725 e-mail：riecko@smma.or.jp